



目的

若年層(小・中・高校生)を対象に、福祉に関する仕事や職場環境等の知識・実情を学ぶ機会を提供し、福祉への関心を高め、進路選択のきっかけを作り、将来的な福祉人材の確保を目的とする。

内容



- ①宮城県内すべての小・中・高校を対象に開催案内【R5.19校、R6.6校】
- ②開催を希望する学校の要望に合わせて内容を調整(教員・保護者の参加を推奨) ➡ 内容に応じて種別協に協力依頼
- ③-1 福祉人材センターの事業内容説明
- ③-2 福祉現場で働く職員からの講話(生い立ち、福祉の仕事を選んだ動機、仕事のやりがいや魅力、苦労体験など)
- ③-3 福祉体験(車いす・白杖・移乗・食事等の介護体験、高齢者疑似体験、認知症VR体験など)

効果

- 職員の講話と体験がセットであり、具体的な福祉の仕事をイメージできる。
- セミナーの内容を家庭で話題とするため、福祉啓発の一助となっている。(保護者参加型の場合にはより効果が高い)

P R

○本セミナーは若年層対象ですが、このほか、介護助手講習会や介護職経験の浅い職員を対象とした介護技術ステップアップ講習会も開催しています。当センターのミッションは福祉人材の確保と定着です。手を変え品を変え、より良い取り組みを提供できるよう努めています。